

第12号議案 令和5年度長崎市一般会計予算

【目次】

(歳出)

【2款 総務費 1項 総務管理費 2目 広報広聴費】

1 広報広聴推進費

1 広報戦略推進費	3 ページ
2 シティプロモーション推進費	7 ページ
(参考資料) 長崎市広報戦略の成果検証	9 ページ
7 広報写真デジタル化事業費	17 ページ

【2款 総務費 1項 総務管理費 9目 国際化推進費】

1 国際化推進費

4 子どもゆめ体験費	21 ページ
2 都市間交流推進費	
2 サントス市姉妹都市提携50周年記念事業費	23 ページ

秘書広報部
令和5年2月

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
110 ～ 111	2 総務費	1 総務管理費	2 広報広聴費	1-1	広報戦略推進費	千円 17,084

1 概要

長崎市では市役所の広報力を高めるとともに、組織的・戦略的な広報を行うため、令和元年度末に広報戦略を策定し、これに基づく広報の基礎・基盤をつくり実行できるまでの期間として、令和4年度までを計画期間とする取組みを進めてきた。

これまでに、職員の意識の向上や情報発信力の強化など、一定の成果を上げているものの、広報戦略の2つの柱である「広報の基本姿勢『全員広報』」と「組織的・戦略的な広報を行うための『重点的広報テーマ』の設定」はこれからも継続して求められるものである。

以上のことから、引き続き、広報に対する職員の意識改革・人材育成に取り組むとともに、市民の暮らしを便利で豊かにする情報を発信する、くらしプロモーション「マル得長崎」及び100年に一度ともいわれるまちの進化がもたらす長崎市の魅力を発信する、まちづくりのプロモーション「長崎 MIRAISM」を実施する。

2 事業内容

(1) 職員の意識改革・人材育成 4,060千円

ア 庁内の広報相談に対する支援 (3,168千円)

職員だけでは対応が困難なデザインやウェブ媒体活用などの専門的な知識・経験を要する相談案件について、それぞれの専門家を招聘し助言を得る（月に1回、6時間程度を想定）。

イ 職員研修等の実施 (892千円)

職員の広報に対する意識改革や、より効果的な広報活動を行うために必要な広報スキルの向上を目的とした研修（4回）を実施する。また、広報の企画や媒体活用等の参考となる図書を購入し、庁内への貸し出しを行う。

(2) 広報戦略の重点的広報テーマに基づくプロモーションの実施（市内向け） 11,941千円

「マル得長崎」及び「長崎 MIRAISM」を実施するため、専用ホームページ、動画、SNS等を活用した市内向けの情報発信を行う。

くらしプロモーション「マル得長崎」	まちづくりのプロモーション「長崎 MIRAISM」
	

ア 長崎市公式ラインの発信力の強化 (3,180千円)

くらしプロモーション「マル得長崎」に関する情報を効果的に発信するため、スマートフォンに直接情報を届けることができる「プッシュ型」の広報媒体「ライン」による情報発信を行っており、長崎市公式ラインの登録者数増加に向けてラインでの広告配信やポスター・チラシの印刷等を行う。

- (ア) ライン広告 (2,750千円)
- (イ) ポスター・チラシ印刷 (100千円)
- (ウ) 配信機能の更新 (330千円)

【広告等のイメージ】

ライン広告の例	ポスター・チラシ
 <p style="text-align: center;">友だち登録 1万人想定</p>	

イ 各種媒体を活用した情報発信 (8,761千円)

まちづくりのプロモーション「長崎 MIRAISM」に関する情報を効果的に発信するため、ロゴや動画等を活用し、認知の促進や情報が集約された専用ホームページへの誘引を促す広告等を行う。

- (ア) SNS 広告等のウェブ媒体を活用した情報発信 (2,750千円)
 - ・ ツイッターフォロワー獲得 3千人想定
 - ・ ユーチューブ動画再生回数 60万回想定
 - ・ グーグルバナー広告表示 120万回想定
- (イ) 交通広告の掲出 (3,685千円)
- (ウ) 商店街等への大型広告製作及び掲出 (1,182千円)
- (エ) 新聞等への広告掲載 (792千円)
- (オ) 冊子制作 (352千円)

【広告等のイメージ】

SNS 広告の例（ツイッター）	交通広告の例	
	<p>【バスターミナルサイネージ】 2施設×3か月 (16時間/日、15秒×230回)</p> 	<p>【電車側面大型看板】 2台×11か月</p> 
商店街等への大型広告の例	新聞等への広告掲載の例	冊子制作
<p>【アーケード上部】 2か所×6か月</p> 		

(3) 長崎市の魅力等の効果的な情報発信 396千円

全国のマスコミや編集者等へプレスリリースが配信できるサービスを活用し、長崎市の魅力等を市内外に広く発信する。

(4) その他経費（ホームページサーバー使用料、消耗品費ほか） 687千円

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 17,084	千円 8,435	千円 -	千円 -	千円 -	千円 8,649

※デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率 1/2

予算説明書					事業名	予算額
頁	款	項	目	番号		
110 ～ 111	2 総務費	1 総務管理費	2 広報広聴費	1-2	シティプロモーション 推進費	千円 9,304

1 概要

組織的・戦略的な広報を行うための「重点的広報テーマ」である、まちづくりのプロモーション「長崎 MIRAISM」の市外向けの情報発信を行うことで、長崎市への興味関心を高め、交流人口や関係人口の増加につなげる。

2 事業内容

(1) 広報戦略の重点的広報テーマに基づくプロモーションの実施 9,304千円

ア SNS 広告等のウェブ媒体を活用した情報発信 (6,000千円)

特に若い世代への訴求力が高い SNS 広告等のウェブ媒体を活用し、長崎 MIRAISM の専用ホームページへ誘引することにより、100年に一度ともいわれるまちの進化がもたらす長崎市の魅力に触れる機会の創出につなげる。

【広告の配信イメージ】

ユーチューブの例	ツイッターの例	グーグルバナーの例
 <p>動画再生回数 100万回想定</p>	 <p>フォロワー獲得 8千人想定</p>	 <p>広告表示回数 200万回想定</p>

イ 大都市圏での交通広告を活用した情報発信 (2,600千円)

人の往来の拠点となる交通結節点のサイネージ広告を活用し、長崎 MIRAISM の認知の拡大及び興味・関心の喚起につなげる。

(ア) 羽田空港 第1・第2ターミナル (16時間/日、15秒×80回、60面、1か月) (1,500千円)

(イ) 博多駅構内 (18時間/日、15秒×360回、10面、1か月) (1,100千円)

【広告のイメージ】



ウ 専用ホームページのコンテンツ制作（704千円）

長崎 MIRAISM で紹介しているもののうち、令和4年度に完成した事業（あぐりの丘、新庁舎）について、新たに生まれた魅力などを対談形式でまとめた記事を制作する。

【記事のイメージ】



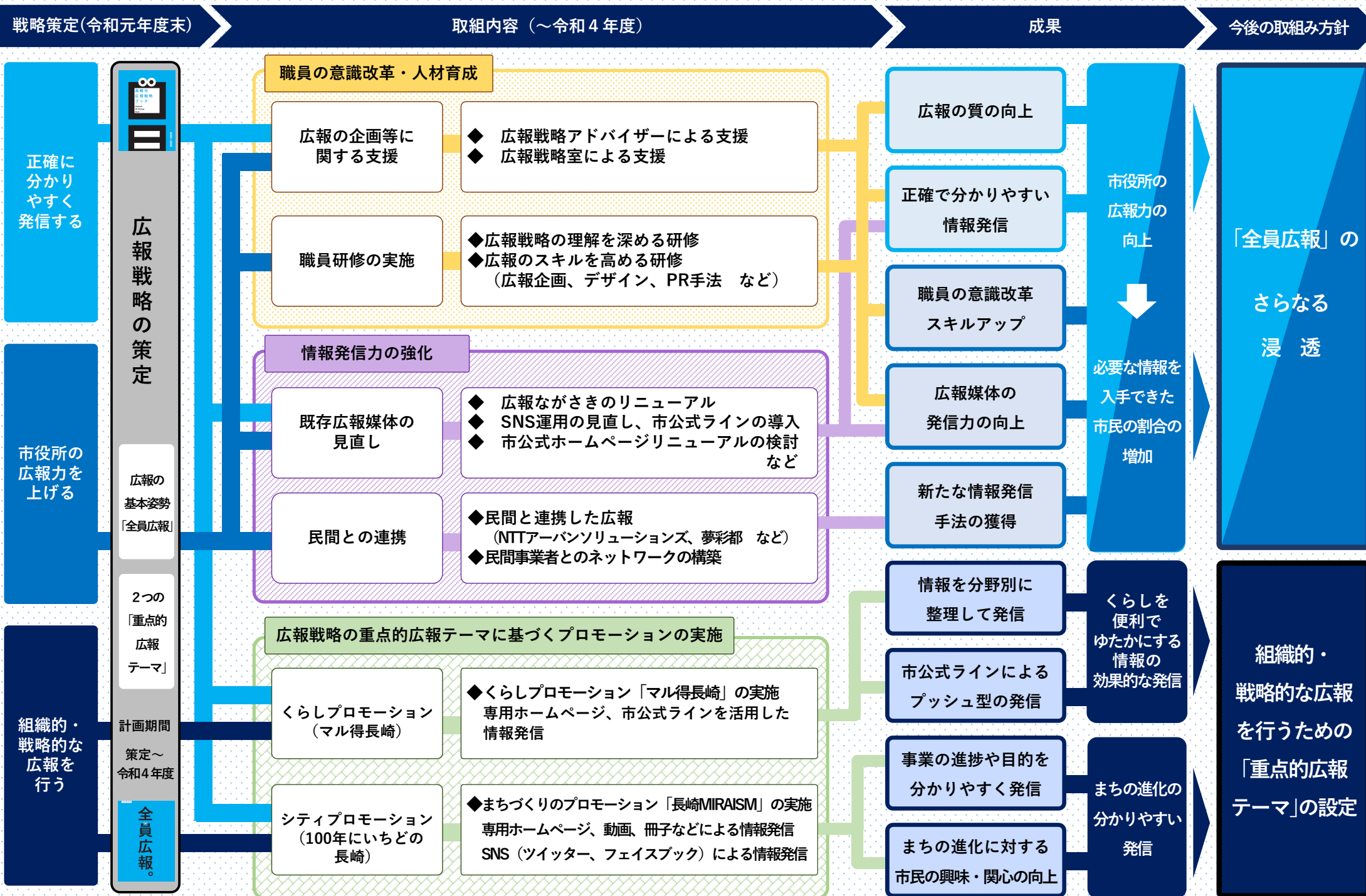
3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 9, 3 0 4	千円 4, 6 5 2	千円 —	千円 —	千円 —	千円 4, 6 5 2

※デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率 1 / 2

長崎市広報戦略の成果検証

長崎市広報戦略に基づくこれまでの取り組みと成果及び今後の取り組み方針



必要な情報を入手できた市民の増加（市政モニターアンケート）

広報戦略に基づく取組みにより、市民が情報を入手しやすい環境づくりが進み、市政モニターアンケートにより把握している「必要な情報を入手できた市民の割合（※）」が年々増加した。

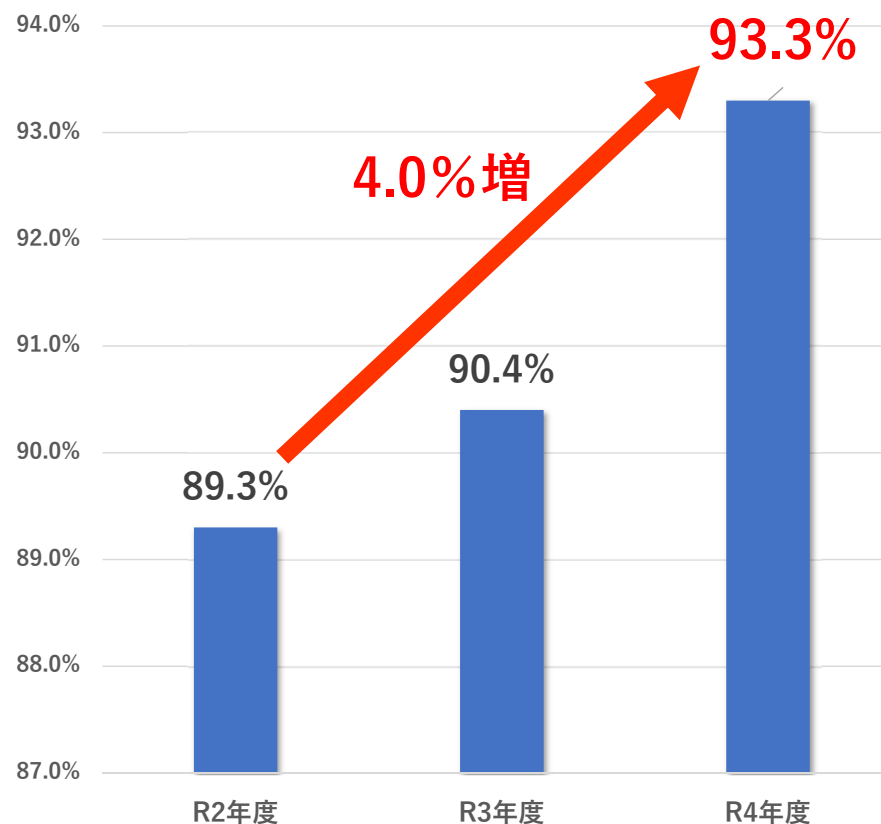
※市政モニターアンケート
過去1年間に市役所から情報を入手しようとしたことがあると回答したかたのうち、「必要な情報が入手できた」「どちらかといえばできた」と回答したかたの割合

必要な情報を入手できた市民の割合が増えたことは、
情報を入手しやすい環境づくりの成果と考えられる。

- 広報企画への支援による広報の質の向上
- SNSを活用した効果的な発信
- 新たな情報発信媒体「市公式ライン」の導入
- 情報の主な入手手段のひとつである
「広報ながさき」のリニューアル など



必要な情報を入手できた市民の割合



広報企画への支援による広報の質の向上

広報企画への支援において、コンセプトの整理、表現の工夫など専門的なアドバイスを行うことで、広報の質が向上し、正確に分かりやすく伝わるようになった。なかには、全国を対象とした地域密着型の広報媒体のコンクールにおいて受賞を果たした制作物も生まれた。



▲ 広報ながさき



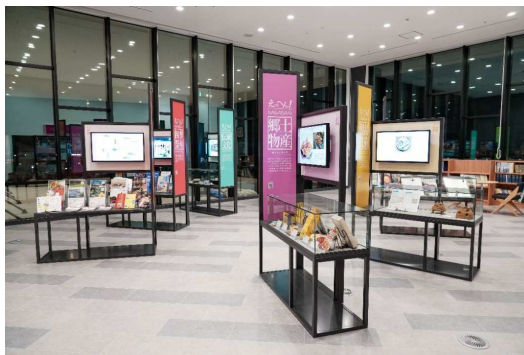
▲ 若者向け情報誌「yoriyori」



▲ 北部地区パンフレット「Meet Kita」



▲ マイナンバーカードもったくキャンペーン



▲ 新庁舎情報コーナー「えっへん！NAGASAKI」



▲ あなたらしい生活様式



▲ ながさき井戸端パーティー



▲ さしみシティ



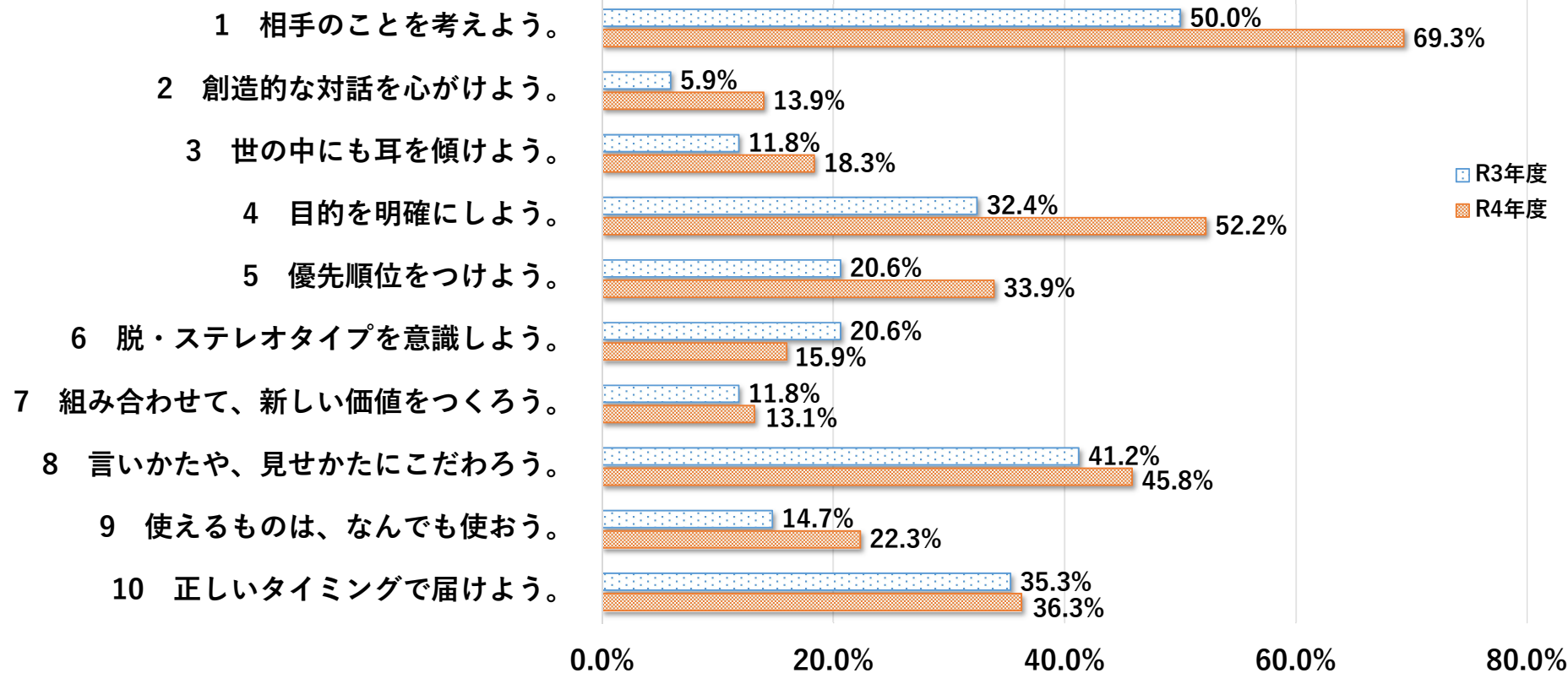
▲ 住みよかプロジェクト

職員の意識改革・スキルアップ

広報戦略のチェックポイント（10項目）の活用意識^(※)の変化

ほとんどの項目で、活用意識が向上しており、広報戦略が職員に浸透してきている。

※広報研修受講者アンケートにおいて、広報戦略におけるチェックポイントについて「実際に業務に活かしているチェックポイントはありますか」の問いに、活かしているチェックポイントとして回答があった職員の割合（令和3年度、令和4年度の受講者比較）

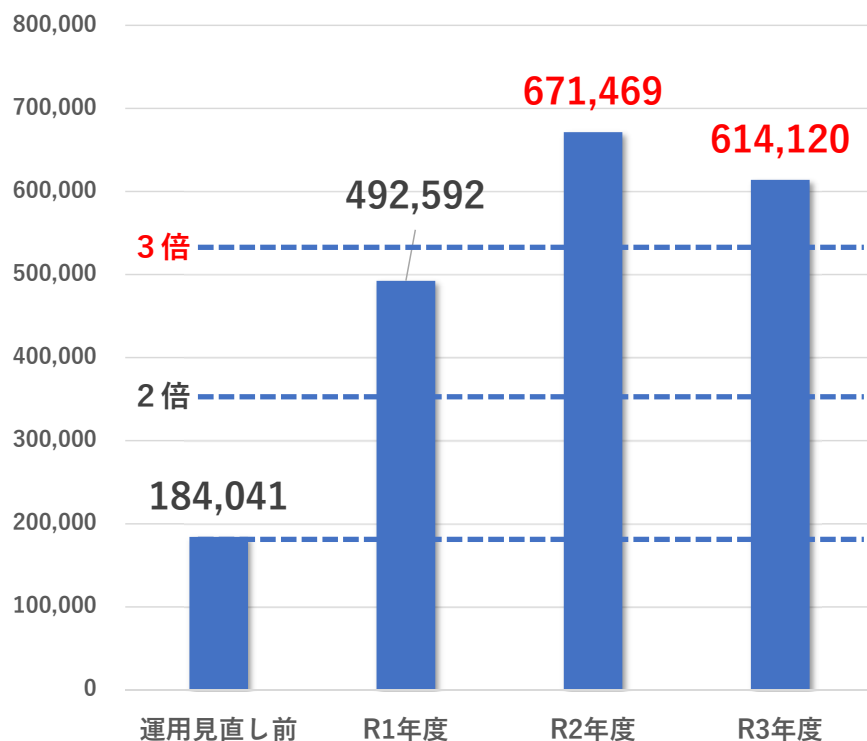


広報媒体の発信力の向上

SNS運用の見直し

市総合公式SNSアカウント（ツイッター、フェイスブック）の運用方法の見直しにより、ツイッターの閲覧数が3倍以上に向上するなど、情報拡散力が向上した。

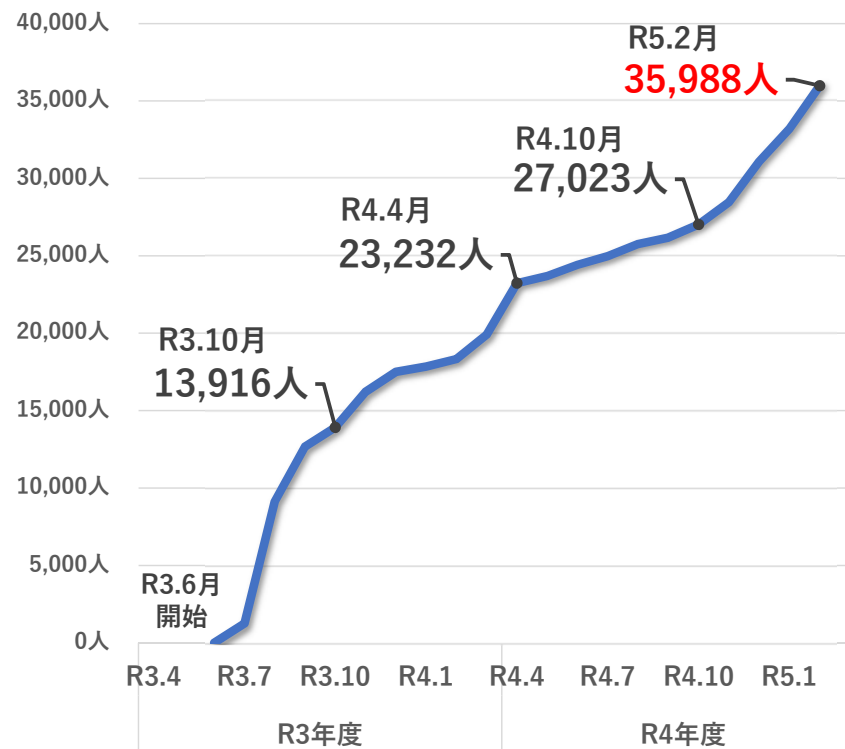
ツイッター 閲覧数（月平均）



長崎市公式ラインの導入

「いつでも・どこでも・どなたでも」情報を手に入れられるツールとして新たに市公式ラインを導入したことで、各部局による効果的な発信ができるようになった。

市公式ライン登録者数 推移



※各月1日時点の登録者数

くらしプロモーション「マル得長崎」

令和3年6月～

市民のくらしを便利でゆたかにする情報を分野別に整理し、「マル得長崎」の情報として発信するとともに、メインの発信媒体として新たに市公式ラインを導入したことで、各部局による効果的な発信ができるようになった。

便利な情報をまとめて
分かりやすく発信

市公式ライン
メッセージ配信回数

1,057回

R3.6月～R5.1月実績

各部局で発信していた
便利な情報をひとまとめに！

マル得長崎ホームページ画面



ピックアップ

- 2023.01.19 イーカオ出産・子育て応援ギフト
- 2023.01.06 もったくキャンペーン第2弾開催中
- 2022.06.03 いつでも、どこでも！スマホで電子書籍
- 2022.01.20 市民なら誰でも受診できる「長崎市の...
- 2021.10.20 密を避け、空いた時間にスムーズな投...
- 2021.06.29 ファミサポで、もっと子育てしやすく
- 2021.06.24 避難する時はスマホで避難所の開設状...

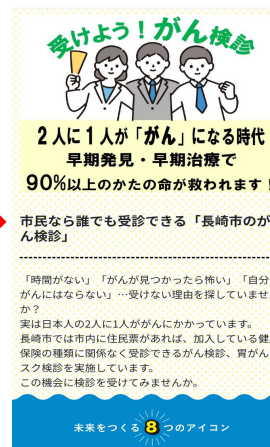
未来をつくる 8つのアイコン

公式ライン画面



▲ リッチメッセージ配信

各課の
ページへ



▲ マル得長崎HP画面 (スマートフォン)

がん検診・胃がんリスク検診について (お知らせ)

更新日：2023年1月12日 ページID：004

新着情報

1月23日・31日実施予定の集団がん検診の予約期間を延長しました。

○横尾団地集会所（県営住宅A棟横・秋寄公園上）

【日時】令和5年1月23日（月） 9時半～11時

【内容】胃がん検診、子宮頸がん検診

【予約期間】令和5年1月17日（火）まで

※大腸がん検診は、予約を終了しました。

まちづくりのプロモーション「長崎MIRAISM」

令和3年4月～

各事業の担当課がそれぞれ「点」で発信していた情報を「面」にまとめ、ひとつのまちづくりのストーリーとして伝えることで、事業の進捗や目的、まちの変化から生まれる新たな魅力や暮らしがどう変わるのかを分かりやすく伝えることができるようになった。

長崎MIRAISM専用
ホームページ閲覧数
514,986回

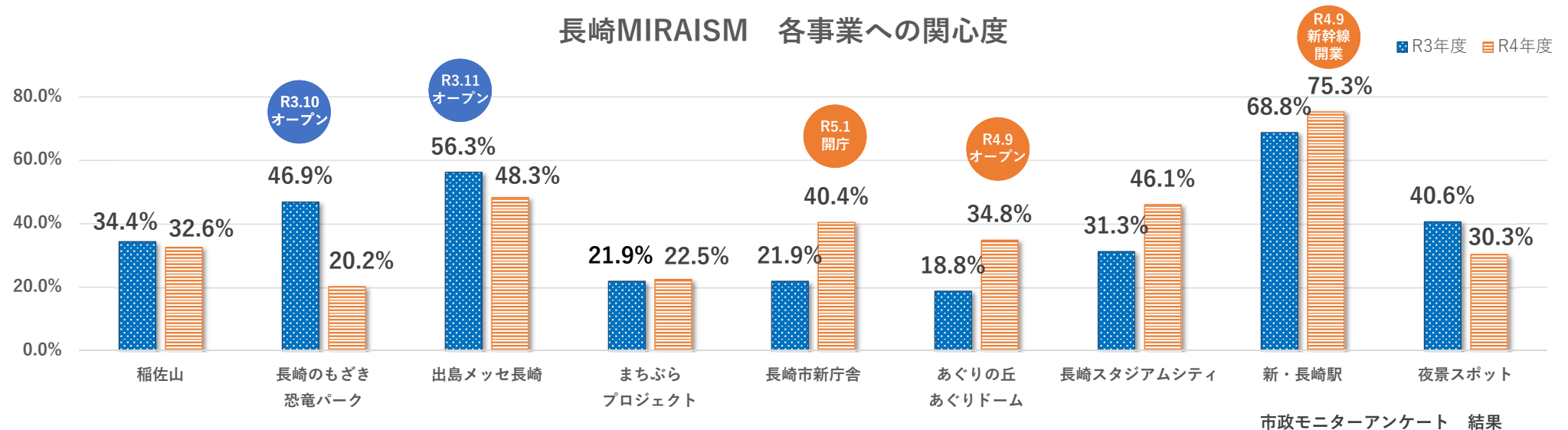
長崎MIRAISM専用
ツイッターのフォロワー数
14,007人

動画の再生回数
2,329,616回

※実績はR5.1.31現在

各事業の効果的な発信による関心度の向上

長崎MIRAISM 各事業への関心度



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
110 ～ 111	2 総務費	1 総務管理費	2 広報広聴費	1-7	広報写真デジタル化 事業費	千円 9,028

1 概要

長崎の歴史を未来に残し、今後、有効に活用していくため、昭和30年代から平成15年までに広報写真として撮影したネガ・ポジフィルム（約70万枚）のうち、必要な写真をデジタル化するもの。

写真をデジタル化し、撮影時期やタイトル（行事名）などの情報を付して整理することにより、長崎市の市政資料として利活用を図るとともに、特に施設や風景、行事などの写真については、今後、インターネット上で公開（オープンデータ化）し、誰でも利用・閲覧できるようにすることで、長崎市に対する理解や愛着を深めてもらう。

2 事業内容

(1) 主なスケジュール・作業内容など（予定）

令和4年度	・ネガ・ポジフィルム（約70万枚）の把握・整理 ・保存すべき写真の選別
令和5年度	・写真のデジタルデータ化（約10万枚）及び市政資料としての活用 ・オープンデータ化に向けた準備
令和6年度以降	・写真のオープンデータ化（数千枚想定）

3 事業費

9,028千円

（内訳）	会計年度任用職員報酬人件費（1名）	2,169千円
	広報写真デジタル化業務委託料	6,809千円
	その他（消耗品費）	50千円

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金(※1)	県支出金	地方債	その他(※2)	一般財源
千円 9,028	千円 9,017	千円 —	千円 —	千円 11	千円 —

※1：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（単独）

※2：保険料個人負担金

【参考1】令和4年度の作業内容

1 以下の形式で倉庫内に保管されていたネガ・ポジフィルム（約900冊・約70万枚）について、行事ごとに、撮影時期や行事名などを把握し、台帳を作成し整理する。

(1) ネガシートとべた焼き（コンタクトプリント）がセットで保存されているファイル



(2) べた焼きのみ保存されているファイル ※ネガフィルムは別保管



(3) ポジフィルムが保存されているファイル



2 各ファイルを開き、写真を確認しながら、デジタルデータとして保存する写真（各行事の様子が分かる写真）を必要最低限選別する。



例えば「昭和43年3月、木鉢線開通式」の行事では、合計23枚の写真の中から、テープカットと通り初めの2枚の写真を選ぶ

【参考2】 デジタルデータ化する写真と行事名の例

表敬、会議など



昭和 50 年 12 月姉妹都市提携 20 周年で来崎した米国セントポール市長の表敬訪問



昭和 58 年 11 月ポルトガル海軍練習船サグレス号乗組員の表敬訪問

催し・イベント、式典、出来事など



長崎港で繰り広げられる長崎ペーロン競漕大会（昭和 59 年）



昭和 57 年 4 月に来崎し、原爆落下中心地碑に献花するマザー・テレサ



平成 2 年 8 月に開催された長崎旅博覧会（松が枝国際観光埠頭会場）



平成 15 年 7 月、長崎ゆめ総体（かきどまり陸上競技場での開会式の様子）

まちなみ、風景など



昭和 42 年 12 月、鍋冠山公園から見た長崎港



平成 10 年 7 月、三角屋根の駅舎が建つ J R 長崎駅周辺

【参考3】 デジタルデータ化する写真（約10万枚）の主な内訳

行事分類	主な行事内容等	1行事あたりの保存枚数	行事件数（件）	保存枚数（枚）
表敬、会議など （場面や構図等が限られるもの）	要人などの市長表敬訪問、各種団体との意見交換など	1～5枚程度	約26,000件	約53,000枚
催し・イベント、講演・講座、式典など （撮影場面や参加人数等が比較的多いもの）	文化・スポーツイベント等（市民体育祭、市民大行進、防災訓練、各種シンポジウム等）、学校や公共施設の開所式など	6～20枚程度	約2,900件	約26,000枚
大規模イベント・主要な式典や出来事など	集客イベント（長崎くんち、ランタンフェスティバル等）、式典（長崎市表彰式、平和祈念式典）、出来事（長崎大水害、長崎旅博覧会）など	21枚以上	約300件	約11,000枚
記録写真として撮影した高精細な写真など	年代ごとのまち並みや、風景、自然、施設、行事など	必要な枚数	—	約12,000枚
合計				約102,000枚

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
118 ～ 121	2 総務費	1 総務管理費	9 国際化推進費	1-4	子どもゆめ体験費	千円 16,850

1 概要

次世代を担う長崎の子どもたちを姉妹都市・市民友好都市に派遣し、現地の人々との交流を通じて「個性輝く世界都市」としての人的ネットワークを拡大するとともに、文化・習慣などを肌で感じるにより、国際性を有する人材の育成を図る。

2 事業内容

(1) 派遣日程 令和5年8月17日(木)～25日(金) 6泊9日(予定)

(2) 派遣都市 ライデン市(オランダ)、ヴェルツブルク市(ドイツ)

(3) 派遣団構成 中学生16人、引率職員3人 計19人

(4) 訪問先での交流内容等(予定)

ア ライデン市

ホームステイ、市役所表敬訪問、シーボルトハウス視察等

イ ヴェルツブルク市

市役所表敬訪問、シーボルト博物館視察等

(5) 研修及び発表

ア 事前、事後研修全4回(訪問先等に関する講座、語学研修等)

イ 成果発表「あじさいイングリッシュスピーチコンテスト」

「ながさき異文化ちゃんぽんフェスタ」などにおいて活動報告

(6) 事業費 16,850千円

(内訳)

報償費 130千円(ホストファミリー謝礼等)

旅費 195千円(引率職員日当等)

需用費 470千円(報告集作成、記念品等)

委託料 15,922千円(旅行業務委託)

その他 133千円(携帯電話・ルーター費用、現地タクシー借上料ほか)

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
16,850	—	—	—	16,850	—

※文化国際交流基金繰入金 9,729千円

市町村振興事業補助金受入金 5,681千円

子どもゆめ体験参加料 1,440千円(90千円/人)

【参考：訪問都市等の概要】



(1) オランダ・ライデン市

- ア 人口 約 12 万人
- イ 面積 23.3 平方キロメートル
- ウ 姉妹都市提携日 平成 29 (2017) 年 11 月 24 日
(市民友好都市提携日 平成 25 (2013) 年 2 月 4 日)
- エ 提携のきっかけ

日本における西洋医学の基礎を築くとともに、日本の近代化に大きく寄与したシーボルトにかかる歴史的なつながりがあり、シーボルトハウスや国立民族学博物館などで今でも多数のシーボルト・コレクションが所蔵・展示されている。

平成 10 (1998) 年から長崎大学とライデン大学との間で交換留学生を相互派遣し、市民レベルでの人的交流も行われていることから、平成 25 (2013) 年 2 月から市民友好都市提携を締結。

その後、シーボルトをゆかりとした歴史的な結び付き、市民間の交流の状況等を勘案し、同市との友好及び交流関係を更に深めるため姉妹都市提携を締結。

(2) ドイツ・ヴュルツブルク市

- ア 人口 約 13 万人
- イ 面積 87.63 平方キロメートル
- ウ 市民友好都市提携日 平成 25 (2013) 年 4 月 17 日
- エ 提携のきっかけ

シーボルトの生誕地であり、日本から持ち帰った資料がシーボルト博物館で数多く保管・展示されている。

長崎大学とシーボルトの出身大学であるヴュルツブルク大学との間で交換留学生を相互派遣し、市民レベルでの人的交流も行われていることから長崎市から市民友好都市提携を提案。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
118 ～ 121	2 総務費	1 総務管理費	9 国際化推進費	2-2	サントス市姉妹都市提携 50周年記念事業費	千円 6,079

1 概要

令和4年度はサントス市との姉妹都市提携から50周年を迎えたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により公式訪問団を派遣することができなかったことから、両市長の参加によるオンライン交流会を行い、これまでの交流に対する謝意を伝え合うとともに、まちの近況報告などを行った。

令和5年度は、公式訪問団を派遣することで、都市間の友好関係をさらに深めるとともに、ブラジルと長崎の友好関係の架け橋として大きな役割を果たし、昨年創立60周年を迎えたブラジル長崎県人会を訪問し、交流の促進につなげる。

2 事業内容

- (1) 派遣日程 令和5年9月下旬～10月初旬 4泊8日（予定）
- (2) 派遣都市 サントス市、サンパウロ市
- (3) 公式派遣団 市長、市議会議長、国際課職員2人
議会事務局1人（議会費で予算計上） 計5人
※この他、市議会議員に参加の案内を行う予定

- (4) 訪問先での交流内容等（予定）

ア サントス市

市役所表敬訪問、サントス日本人会表敬訪問、長崎市が寄贈した路面電車視察等

イ サンパウロ市

ブラジル長崎県人会表敬訪問、在サンパウロ日本国総領事館表敬訪問等

- (5) 事業費 6,079千円（国際課分）

（内訳）

旅費	5,894千円	（市長、議長、国際課職員2人）
需用費	55千円	（訪問先への記念品）
役務費	80千円	（携帯電話、ルーター費用）
使用料及び賃借料	50千円	（現地タクシー借上料）

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 6,079	千円 -	千円 -	千円 -	千円 6,079	千円 -

※文化国際交流基金繰入金 3,829千円

市町村振興事業補助金受入金 2,250千円

【参考：訪問都市等の概要】



(1) サントス市

ア 人口 約 43.5 万人

イ 面積 271 平方キロメートル

ウ 提携日 昭和 47 (1972) 年 7 月 6 日 ※令和 4 (2022) 年に提携 50 周年

エ 提携のきっかけ

長崎と同時期に、ポルトガル船の来航により貿易港として開かれた。我が国第一回ブラジル移住者 781 名が上陸した港町。本県出身の移住者やサンパウロ州議員からの申し入れにより姉妹都市提携が行われた。

(2) サンパウロ市

ア 人口 約 1,203 万人

イ 面積 1,521 平方キロメートル

ウ 概要 サンパウロ州の州都。サンパウロ州には世界で唯一、日本の 47 都道府県すべての県人会が存在する。

(3) ブラジル長崎県人会

ア 設立 昭和 37 (1962) 年 4 月 ※令和 4 (2022) 年に創立 60 周年

イ 会員数 288 人

ウ 活動内容 長崎県とブラジルの架け橋となる多彩な交流活動

- ・ ブラジルにおける長崎の情報発信
フェイスブックでの魅力発信
龍踊の上演活動 (リオ・デ・ジャネイロでの日本祭りなど)
- ・ 平和活動
原爆犠牲者慰霊ミサ実施、サンパウロ市議会平和式典参加
- ・ 長崎県の事業に対する支援
海外技術研修員受入事業に参加する研修員の選考